

情報提供を含むセーフティプランの作成も行っている。また、通訳サービス用い 170 以上の異なる言語対応も行っている^{注2)}。

また、被害者にとっての身近な情報源の一つと言えるホームページには、保護を求めた後の方向性や、組織内の風景画像、メディア活動内容、NDVH の出版物等、組織の情報を多く公開し、被害者に NDVH の信頼感・安心感を与えるように工夫されている。WEB を介した支援として、「保護を受けたい」と決断した被害者がひと目でホットラインに結びつけるよう、電話番号を誇張している他、ブログを開設し被害者の声の共有を行っている。このブログに参加するために「安全性とプライバシー」、「礼儀と配慮」、「トピック及びディスカッション」の3つの項目からなるガイドラインも明示されており、不特定多数の被害者がブログにアクセスできる環境にあっても、互いに不利益を被ることがないようにルールを決めている^{注3)}。

さらには、ホームページに被害者がアクセスをしたことを加害者に知られないようにするため、アクセス履歴を消去できるようになっている。

2) National Coalition Against Domestic Violence (NCADV)

NCADV は、私たちの生活から暴力をなくすために組織された団体であり、DV の根絶、被害者と子どものエンパワメント、直接支援プログラムの推進、社会への周知・教育、企業・組織とのパートナーシップの促進活動を行っている^{注4)}。具体的な支援内容は以下の通りである。

NCADV において実施しているサポート一覧^{注5)}

【危機介入】

- ① 危機介入支援
- ② 危機ホットライン
- ③ シェルターもしくは他の緊急住居紹介支援
- ④ 施設紹介支援
- ⑤ 医療サービス
- ⑥ 交通ネットワーク
- ⑦ 法律手続き
- ⑧ 加害者対応

【精神的サポート】

- ① セルフヘルプグループ
- ② アサーティブトレーニング
- ③ 自尊心と信頼感の構築
- ④ セッション
- ⑤ 子育てスキル向上コース

【アドボカシーと法的支援】

- ① 子どもの親権
- ② 経済問題
- ③ 経済支援

- ④ 接近禁止命令
- ⑤ 公的支援のメリットについて
- ⑥ 在留資格のサポート

[他のサービス]

- ① 住宅と安全な宿泊施設の確保
- ② 子どものケア
- ③ コミュニティーサービスとの橋渡し

また、セーフティプランはインターネット上で被害者が自分でも作成できるようになっており、11 個項目を埋めることによって個々の被害者に合わせたセーフティプランを作成することができる^{注6)}。(添付資料 1・2 参照)

2. 州レベルで活動している組織

各州では、資源の種類に差はあるものの、暴力被害者を対象に、一時保護支援を展開している。(添付資料 3 参照)

被害者への相談支援業務に加え、アラスカ州では DV 被害者支援を行う支援者のためのツール本を作成し公開している。また、デラウェア州では移民の DV 被害者支援ガイドを作成している。

II. 一時保護につなげるプロセスにおいて活用されるツール

1. 自分が「DV 被害者」と認識をする

先に述べたいずれの組織もホームページを開設しており、DV の具体的な種類と内容の他、アクセスした者が「自分は DV 被害者なのか」を確認できるチェック項目を記載しているサイトが多い。これは、被害者本人が置かれている状況を客観的に確認できることにより、支援を受ける動機付けに結びつき、支援プロセスの開始に大きな影響を及ぼすためと考えられる。

Florida Coalition Against Domestic Violence(2005)は、以下の「DV 被害者チェック項目」をあげている^{注7)}。

パートナーが、

- ・あなたを物理的に傷つけること
- ・打つこと、髪を引くこと、抑圧、打つこと、蹴ること、つかむこと、腕をねじる
こと、火傷させること、故意に任意の方法であなたを負傷させること
- ・あなたに対してあなたの子どもたちを利用して嫌がらせをすること
- ・あなたを呼びつけて深く傷つけること
- ・あなたのペットを傷つけること
- ・極端な嫉妬および独占欲が強いこと
- ・家族や友達からあなたを孤立させること
- ・「自殺をする」とか「あなたを殺す」と脅すこと
- ・あなたのお金をコントロールすること
- ・病院を受診させないこと

- ・あなたをストーキングすること
- ・望まない性交渉を要求すること
- ・あなたの助けとなる物を隠すこと
- ・破壊的な行動を過少評価すること
- ・あなたがもし同性愛者ならば、「そのことを暴露する」と脅すこと
- ・あなたを視線やジェスチャーでコントロールすること

また、Family Violence Prevention Fund (2005) が、医療従事者に対して示したガイドラインの中で、以下の質問をクライアントにすることを提示している^{注8)}。

- ・あなたのパートナーはあなたを殴ったり、傷つけたり、脅したりしますか。
- ・あなたのパートナーはあなたを怖がらせますか。
- ・あなたのパートナーは、あなたが望まない性交渉を強要したことがありますか。
- ・あなたのパートナーはどのようにあなたを扱いますか。

※ さらに、以前のパートナーにも同様のことがあったかという歴史についても質問をする。

以上の質問への回答を受けて、質問者が「危機的状況にある」と判断をした場合は、クライアントに「今日家に帰すのは心配」である旨を伝え、加害者のパートナーが一緒に来ているか否かの確認をした上で、「殺人行為のおそれ」、「武器の所持」「首を絞める、ストーキングの過去はないか」の3点を確認し、生命が脅かされる状況にないかの評価を行う。

その後、子どものことを含めた安全確認も行い、クライアントを取り巻く環境要因の確認をした上で、クライアントの長期的な危機の見込みと、クライアントが「どうにかしたい」と思っているかの判断をする。その結果、サポートを受けることを望む場合は、ホットラインへ通報をする。これによりクライアントは、DV 被害者担当相談員とつながり、セーフティプラン立案、保護命令申請、シェルター探しへと進んでいく。

2. パートナーがいかに危険な存在かを測る

アラスカ州の Alaska Network on Domestic Violence & Sexual Assault(ANDVSA) では、配偶者暴力リスクアセスメントシートが作成されている^{注9)}。(添付資料 4・5 参照)これは、加害者のパートナーがどれだけ危険な存在であるかを把握するためのシートであり、間接的に被害者の危険度を見極めるツールの1つになり得る。

アメリカでは一時保護を利用する場合、「被害者本人」の申請と一時保護を受け入れる「シェルター」とこの二者の橋渡しの「DV 被害者支援組織」の3者により決定している。一時保護を受けるためには、被害を受けた者が自分の危機的状況を知り、「自分は DV 被害者であること」を認識し、さらにこれまでの生活が一変することを受け入れることにより、「一時保護」へ結びつくと言える。しかし DV 被害者のほとんどは生活が一変することを受け入れることができず、自宅へと帰る。その際支援者

は、セーフティプランを立てたり、サポートグループへの参加を促したりして、継続的な支援を促す。

Ⅲ. DV 被害者支援の課題・方法に関する文献レビュー

1. *Implementing a pluridisciplinary network of intimate partner violence prevention* ^{注 10)}

DV の被害者は多くの場合、特有の精神的・身体的症状が出る。ここでは、専門家によるケアの多くが失敗に終わっていることや、専門家のケアの限界について述べられている。DV の被害にあった女性に対して様々な角度から専門家が関与しているが、その専門家同士のネットワークがうまくいかない事に限界の原因があると思われる。「女性の健康や自立を助ける」、「目の前で DV を見てしまった子どもへの影響を考慮し子どもへのケアする」、「性的な被害にあった女性は特に症状が重いことが多いためそこに対する精神的ケアをする」というように、多方面から1つのケースを取り扱うときに、専門家間でのネットワークがしっかりとしたものであって、各々の「役割」をしっかりと理解することが重要と言える。

2. *Getting safe and sober :Real tools you can use* ^{注 11)}

薬物から離れ、安全と安心を手に入れるために実際に役立つ方法を紹介し、薬物乱用や DV に悩む女性を助けることを目的としている。具体的には、薬物や DV による心的障がいに対するアプローチやそのような女性とどのように接することが効果的なのか述べられている。また、薬物に悩まされている人や、パートナーを虐待してしまっている、もしくはパートナーに虐待されている人の見分け方、そして、良く見られる薬物乱用による症状などが紹介されている。

紹介されている見分けるための導き方法として、4P というプロセスがあり、それは4つのPに関して聞くこととしている。Pregnancy (妊娠) Past (過去) Partner (パートナー) Parents (両親) の4つである。これらのPをポイントとして薬物やアルコール中毒の話を始め、1つでもチェックがつく女性に対しては更に話を進めていく。このように、相手が話しやすいように質問を導く方法がアルファベットを使って紹介されており、そこから薬物/アルコール乱用とDV、中毒への影響や関連を調べていく。

さらには、被害者である女性がまず中毒や虐待のことを理解する必要がある、被害者の女性を早期発見できることは本人の安全は言うまでもなく、安全な社会を作るのには欠かせないと述べている。

3. *Sanctuary in a domestic violence shelter: a team approach to healing* ^{注 12)}

DV 被害者のトラウマに焦点を当てている。一度は愛し、信頼し、人生を共にした相手からの暴力は、自己嫌悪に陥らせ、人を恐れ、世の中全般を恐れることになり得る。シェルターのスタッフは、被害者のトラウマに対してアプローチをする中で、現在と過去の暴力の影響や二次トラウマなどへの反応に直面している。ここでは、チームワークに焦点を当てたサンクチュアリーモデルに焦点を当て、治療コミュニティにアクセス可能な支援提供のためのガイドラインを示した。

4. *Domestic violence against women: Recognize patterns, seek help*^{注 13)}

ここでは、DV 被害に遭っていることを「隠そうとしている」、「信じてくれない」、「受け入れることができない」、もしくは「分かっていない」人に対し、サポートとアドバイスがなされていると共に DV の典型的なパターンがリストアップされている。例えば、「悪口を言うてくる」、「酔っぱらうと怒る」、「学校や仕事に行かせてくれない」、「お金の使い方や飲んでいい薬を指定される」等がある。また、同性愛者間でも DV は見られ、その典型的なパターンも紹介されており、これらに該当する項目があるならば相談に行くべきであると述べている。

5. *Violence against women :provider barriers to intervention in emergency*^{注 14)}

緊急外来などの施設で働いている看護師や外科医、ソーシャルワーカーを対象に、「DV や SA (Sexual Assault) を見分けることができるか」というアンケート調査を行った。具体的には、「DV や SA に関するトレーニングを受けているか」、「DV や SA が疑える場合にとるべき項目は把握しているか」、「仲介を躊躇する理由」等を答えてもらった結果、半数以上が DV や SA に関する知識がなかったり、ほとんどがそのような診断をしたことがないと答えた。以上より、多くの職員が DV や SA を察知する能力が低く、そのトレーニングを受けていないことが明らかとなった。よって、最前線にいる外科医や看護師に対する DV/SA を見抜くトレーニングの必要性について述べられている。

D. 考察 および E. 結論

アメリカ合衆国においては、日本の婦人相談所のように、公的機関が直接的に一時保護決定プロセスの一環を担うことはない。アメリカ合衆国の DV 被害者支援の枠組みは日本の状況とは異なり、また、DV の典型的パターンも必ずしも日本にあてはまるものではない。

しかし、アセスメントのツールとしてのセルフチェック、加害者のリスク評価ツール、医療現場でのスクリーニングツール、個々の被害者に応じたセーフティプランの作成ツール等の支援ツール、さらに、被害者支援において必要となる心的な障がいやトラウマへの対応・支援スキルに関する知見等は、日本がこれから取り組むべき課題にも対応した示唆的な内容を含んだ有益な情報である。

こうした情報を日本の婦人保護行政における保護支援のプロセスにおいて、如何に活用することが可能なのか、更なる検討を重ねる必要がある。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

<注>

- 注 1) National Domestic Violence Hotline(2012) About The Hotline.
(<http://www.thehotline.org/about-support/>, 2012.1.5)
- 注 2) National Domestic Violence Hotline(2012) Get Help.
(<http://www.thehotline.org/get-help/>, 2012.1.5)
- 注 3) National Domestic Violence Hotline(2012) The National Domestic Violence
HOTLINE Read our Community Guidelines.
(<http://www.thehotline.org/community-guidelines/> 2012.1.5)
- 注 4) National Coalition Against Domestic Violence(2012)About the National Coalition
Against Domestic Violence. (<http://www.ncadv.org/aboutus.php>, 2012.1.5)
- 注 5) National Coalition Against Domestic Violence(2012) Getting Help .
(<http://www.ncadv.org/protectyourself/GettingHelp.php>, 2012.1.5)
- 注 6) National Coalition Against Domestic Violence(2012) My Personal Safety Plan.
(<http://www.ncadv.org/protectyourself/MyPersonalSafetyPlan.php>, 2012.1.5)
- 注 7) Florida Coalition Against Domestic Violence(2005) What is Domestic Violence.
(<http://www.fcadv.org/about/what-is-domestic-violence>, 2012.1.5)
- 注 8) Family Violence Prevention Fund(2005) Intimate Partner Violence (IPV):
Guidelines for Medical Providers. (www.endabuse.org/health, 2012.1.13)
- 注 9) Bland, Patricia J. and Edmund Debi(2008) Getting safe and sober: Real tools you
can use, ANDVSA,115.
- 注 10) Bazex, H., Thomas, A., Combalbert, N., and Lignon,S.(2010) Implementing a
pluridisciplinary network of intimate partner violence prevention, Elsevier Masson
SAS.
- 注 11) Bland,Patricia J. and Edmund Debi(2008) Getting safe and sober: Real tools you
can use, ANDVSA
- 注 12) Madsen,LH, Blits, LV., McCorkle D. Panzer PG (2003) Sanctuary in a domestic
violence shelter: a team approach to healing.
- 注 13) Mayo Clinic staff (2011) Domestic violence against women: Recognize patterns,
seek help, <http://www.mayoclinic.com/health/domestic-violence/WO00044>.
- 注 14) Mcgrath,M.E.,Bettacchi,A.Duffy,S.J.,Peipert,J.F.,Becker,B.M.,Angelo,L.ST.
(1997) Violence against women: provider barriers to intervention in emergency,
Academic Emergency Medicine,4(4)297-300.

【参考文献】

- American Bar Association (2001) Know Your Rights: Domestic Violence, Defending Liberty Pursuing Justice.
- American Psychiatric Association(2011) Health Resources and Services Administration, (<http://healthyminds.org/Main-Topic/Domestic-Violence.aspx>) .
- Centers for Disease Control and Prevention (2011) Understanding Intimate Partner Violence. (www.cdc.gov/violenceprevention) .
- Elman, R.Amy. (1996) Sexual subordination and state intervention: comparing Sweden and the United States Sexual subordination and state intervention, Berghahn Books. (2002) 細井洋子・小宮信夫訳『国家は女性虐待を救えるか—スウェーデンとアメリカの比較—』文化書房博文社.)
- Familydoctor.org editorial staff (2000) Domestic Violence: Protecting Yourself and Your Children,Familydoctor.org.
- Krasnoff, M. and Moscati,R. (2002) Domestic Violence screening and referral can be effective, Ann Emerg Med.
- Bragg,L.H.(2003) Child Protection in Families Experiencing Domestic Violence, Office on Child Abuse and Neglect Caliber Associates.
- Karpel, Mark A. (1986) Evaluating Couples: A Handbook for Practitioners.
- National Center on Elder Abuse (2005) Domestic Violence: Older Women Can Be Victims Too.
(http://www.ncea.aoa.gov/NCEARoot/Main_Site/pdf/publication/OLDERWOMEN2-COLUMNFINAL10-11-05.pdf) .
- 尾崎礼子(2005)『DV 被害者支援ハンドブック』朱鷺書房.
- The Domestic Violence Coordinating Council (2009) Guide for advocates working with immigrant victims of domestic violence. (www.dvcc.delaware.gov) .
- The Family Violence Prevention Fund (2005) Intimate Partner Violence (IPV) Guidelines for Medical Providers. (www.endabuse.org/health) .
- Womens health.gov.2011) Resources by state on violence against women.
(<http://womenshealth.gov/violence-against-women/get-help-for-violence/resource-s-by-state-violence-against-women.cfm>) .

【添付資料 1】

My Personal Safety Plan

The following steps are my plan for increasing my safety and preparing to protect myself in case of further abuse.

Although I can't control my abuser's violence, I do have a choice about how I respond and how I get to safety. I will decide for myself if and when I will tell others that I have been abused, or that I am still at risk. Friends, family and co-workers can help protect me, if they know what is happening, and what they can do to help.

To increase my safety, I can do some or all of the following:

1. When I have to talk to my abuser in person, I can:
2. When I talk to my abuser on the phone, I can:
3. I will make up a "code word" for my family, co-workers, or friends, so they know when to call for help for me. My code word is:
4. When I feel a fight coming on, I will try to move to a place that is lowest risk for getting hurt such as: _____ or (at work): _____ or (at home) (in public)
5. I can tell my family, co-workers, boss, or a friend about my situation. I feel safe telling:
6. I can use an answering machine or ask my co-workers, friends or other family members to screen my calls and visitors. I have the right to not receive harassing phone calls. I can ask to help screen (home) (work) my phone calls.
7. I can keep change for phone calls with me at all times. I can call any of the following people for assistance or support if necessary and can ask them to call the police if they see my abuser bothering me.
friend: relative: co-worker: counselor: shelter: other:
8. When leaving work I can:
9. When walking, riding or driving home, if problems occur, I can:
10. I can attend a support group for women who have been abused. Support groups are held at:
11. Telephone Numbers I Need to Know:
Police/Sheriff's Department: _____ Probation Officer: _____
Domestic Violence/Sexual Assault Program: _____ Counselor: _____
Clergy Person: _____ Attorney: _____
Other: _____

【添付資料 2】

《私のセーフティプラン》

以下のステップは、暴力を受けた時に私の安全性を高めて、私自身を守る準備をするためのものです。

加害者の暴力をコントロールできなくても、私には対応方法や安全を得るための選択肢があります。私が暴力を受けていたことや、危険にさらされていることを誰かに伝えることは私のためになるでしょう。友達、家族、同僚は何が起こっているかを知っていれば、私を助けることができます。

私の安全性を高めるために、私にできることは以下のものです。

- 1, 私が加害者と話さなくてはならない時に私ができることは:
- 2, 私が加害者と電話で話さなくてはならない時に私ができることは:
- 3, 家族や同僚、友達に助けを呼んでもらいたいと伝えるための合図は:
- 4, 私は危険が迫っていると感じた時に、最も危険度が低く怪我を負いづらい場所は:
(自宅)
(職場)
(公共の場)
- 5, 私の状況を家族や同僚、上司、友達などに伝える際に、安全だと感じる伝え方は:
- 6, 私への電話が誰からか知るために留守番電話を使うことができます。私への来訪者が誰かを知るためには、家族や友人、同僚などにお願ひすることができます。私がお願ひをするのは:
(自宅)
(職場)
- 7, 私が加害者に悩まされていることを警察に通報したり、必要なサポートをしたりしてくれる人たちは:
(友達)
(親族)
(同僚)
(カウンセラー)
(シェルター)
(その他)
- 8, 仕事を離れる時に私ができることは:
- 9, 歩いている時、バイクもしくは車で自宅に向かう時に問題が起こったら私にできることは:
- 10, 私は暴力を受けている女性のサポートグループに参加できます。サポートグループが行われている場所は:
- 11, 私が知っておく必要がある電話番号は:
(警察/保安官)
(保護観察官)
(カウンセラー)
(聖職者)
(弁護士)
(その他)

【添付資料 3】

State	Resources
Alabama	Alabama Coalition Against Rape (ACAR) Alabama Coalition Against Domestic Violence
Alaska	Alaska Network On Domestic Violence and Sexual Assault
Arizona	Arizona Sexual Assault Network (AzSAN) Arizona Coalition Against Domestic Violence (ACADV) Sexual Violence Prevention & Education Program
Arkansas	Arkansas Coalition Against Domestic Violence Arkansas Coalition Against Sexual Assault
California	California Coalition Against Sexual Assault California Partnership to End Domestic Violence
Colorado	Colorado Coalition Against Sexual Assault Colorado Coalition Against Domestic Violence (CCADV)
Connecticut	Connecticut Sexual Assault Crisis Services, Inc. (CONNSACS) Connecticut Coalition Against Domestic Violence (CCADV)
Delaware	Delaware Domestic Violence Coordinating Council (DVCC) ContactLifeline, Inc. Delaware Coalition Against Domestic Violence
District of Columbia	Asian/Pacific Islander Domestic Violence Resource Project District of Columbia Coalition Against Domestic Violence D.C. Rape Crisis Center
Florida	Florida Council Against Sexual Violence (FCASV) Florida Coalition Against Domestic Violence
Georgia	Georgia Coalition Against Domestic Violence Georgia Network to End Sexual Assault
Hawaii	Sex Abuse Treatment Center
Idaho	Idaho Coalition Against Sexual and Domestic Violence
Illinois	Illinois Coalition Against Sexual Assault (ICASA) Illinois Coalition Against Domestic Violence
Indiana	Indiana Coalition Against Sexual Assault Indiana Coalition Against Domestic Violence
Iowa	Iowa Coalition Against Sexual Assault (Iowa CASA) Rape Victim Advocacy Program (Iowa) Iowa Coalition Against Domestic Violence
Kansas	Kansas Coalition Against Sexual Assault and Domestic Violence
Kentucky	Kentucky Association of Sexual Assault Programs Kentucky Domestic Violence Association
Louisiana	Louisiana Foundation Against Sexual Assault (LaFASA)
Maine	Maine Coalition Against Sexual Assault Maine Coalition to End Domestic Violence Sexual Assault Crisis & Support Center
Maryland	Maryland Network Against Domestic Violence Maryland Coalition Against Sexual Assault, Inc.
Massachusetts	Jane Doe, Inc. - Massachusetts Coalition Against Sexual Assault and Domestic Violence Abby's House
Michigan	Michigan Coalition Against Domestic and Sexual Violence
Minnesota	Minnesota Coalition Against Sexual Assault Minnesota Coalition for Battered Women Rape and Sexual Abuse Center (RSAC)
Mississippi	Mississippi Coalition Against Domestic Violence Mississippi Coalition Against Sexual Assault
Missouri	Missouri Coalition Against Domestic and Sexual Violence
Montana	Montana Coalition Against Domestic and Sexual Violence
Nebraska	Nebraska Domestic Violence and Sexual Assault Coalition

Nevada	Nevada Coalition Against Sexual Violence Nevada Network Against Domestic Violence
New Hampshire	Women's Information Service (WISE) New Hampshire Coalition Against Domestic and Sexual Violence Starting Point: Services for Victims of Domestic and Sexual Violence
New Jersey	New Jersey Coalition Against Sexual Assault
New Mexico	New Mexico Coalition Against Domestic Violence New Mexico Coalition of Sexual Assault Programs
New York	New York State Coalition Against Sexual Assault NYC Alliance Against Sexual Assault New York State Coalition Against Domestic Violence
North Carolina	North Carolina Coalition Against Domestic Violence North Carolina Coalition Against Sexual Assault
North Dakota	North Dakota Council on Abused Women's Services/Coalition Against Sexual Assault
Ohio	Ohio Domestic Violence Network
Oklahoma	Oklahoma Coalition Against Domestic Violence and Sexual Assault
Oregon	Oregon Coalition Against Domestic and Sexual Violence
Pennsylvania	Pennsylvania Coalition Against Domestic Violence Pennsylvania Coalition Against Rape
Puerto Rico	Oficina de la Procuradora de las Mujeres Puerto Rico Coalition Against Domestic Violence and Sexual Assault (Coordinadora Paz para la Mujer. Inc/Coalición Puertorriqueña contra la Violencia Doméstica y la Agresión Sexual) Puerto Rico Rape Crisis Center
Rhode Island	Day One Sexual Assault and Trauma Resource Center Rhode Island Coalition Against Domestic Violence
South Carolina	South Carolina Coalition Against Domestic Violence and Sexual Assault
South Dakota	South Dakota Coalition Against Domestic Violence and Sexual Assault South Dakota Network Against Family Violence and Sexual Assault
Tennessee	Tennessee Coalition Against Domestic and Sexual Violence
Texas	Texas Association Against Sexual Assault Texas Council On Family Violence
Utah	Utah Domestic Violence Council Utah Coalition Against Sexual Assault
Vermont	Vermont Network Against Domestic Violence and Sexual Assault
Virgin Islands	Women's Coalition of St. Croix
Virginia	Virginia Sexual and Domestic Violence Action Alliance
Washington	Washington State Coalition Against Domestic Violence Washington Coalition of Sexual Assault Programs
West Virginia	West Virginia Foundation for Rape Information and Services. Inc. (WV FRIS) West Virginia Coalition Against Domestic Violence
Wisconsin	Wisconsin Coalition Against Domestic Violence Wisconsin Coalition Against Sexual Assault (WCASA)
Wyoming	Wyoming Coalition Against Domestic Violence and Sexual Assault

Spouse Abuse Risk Assessment

ANDVSA Real Tools You Can U

From the Domestic Violence/Substance Abuse Interdisciplinary Task Force of the IL DHS (7/2000). Safety and Sobriety: *Best Practices in Domestic Violence and Substance Abuse.*

Name: _____ Date: _____

Risk Factors	LOW (L)	Moderate (M)	High (H)	Comments
History of Abuse	No prior reports or injuries	Prior minor injuries	Subsequent incident or serious injury	
Substance Abuse	None	Some use, non-contributing factor	Significant use, contributing factor	
Extent of Physical Injury	No medical treatment needed	Minor physical injuries/treatment	Major physical injury/hospitalization/injury during pregnancy	
Use of Weapons	None	Weapons available, not used	Weapons used, or threat to use	
Emotional Maltreatment	None/infrequent	Frequent/chronic	Threats of death or serious injury/stalking	
Location of Children	Known/no risk	Known/minimal risk	Unknown, or with perpetrator	
Forced Sex	No evidence or allegation	Allegation with no evidence	Evidence of forced sex	
Family Stressors	None	Minimal	Multiple	
Location of Perpetrator	Known, no access to victim	Known, access to victim	Unknown, or at large	
Assault History	None	Infrequent/occasional episodes	Frequent/chronic episodes	
Fear of Perpetrator	None	Minimal	Significant	
Safety Plan	Appropriate	Vague	None	

Any "H" must be thoroughly evaluated; majority of "M's" require additional evaluation; advise the victim of the assessment and recommendations

Warning/Protection Plan:

ANDVSA

配偶者暴力リスクアセスメント

名前:

日付:

危機要因	低	中	高	備考欄
虐待歴	今までも今もケガなし	軽傷	さらに続いている/重症	
薬物乱用	なし	時々/無関係な要因	常用/暴力に関係あり	
身体のケガの大きさ/広さ	病院に行くほどではない	軽傷/軽い治療	重症/入院/妊娠中のケガ	
武器の使用	なし	武器はあるが使用されていない	武器の使用もしくは使うと脅された	
心理的虐待	なし/ほぼなし	よくある/慢性的	ケガや殺人の脅迫/ストーキング	
子どもがいる所	把握している/リスクなし	把握している/リスク低い	不明/加害者と一緒	
SEXの強要	証拠なし/申し立てがない	申し立てるが証拠なし	強姦の証拠あり	
家族からのストレス	なし	少し	複合的に	
加害者がいる所	知っている/被害者へのアクセスなし	知っている/被害者へのアクセスあり	不明/逃亡中	
暴力歴	なし	不定期/時々	頻回/慢性的に起きる	
犯人の脅威	なし	少し	重大	
セーフティプラン	きちんとある	曖昧	なし	

「高」に該当したものは徹底した評価をしなければならない。大多数が「中」に該当するならば、さらなる評価をする。

警告/保護プラン

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 該当なし

雑誌 該当なし

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））

「女性・母子の保護支援における婦人相談所の機能評価に関する研究」

平成23年度 総括・分担研究報告書

2012（平成24）年3月

発行：「女性・母子の保護支援における婦人相談所の機能評価に関する研究」研究班

研究代表者 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 森川美絵

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

Tel : 048-458-6111（代表）

